

## 地位・知名度向上へ

### 広島県鉄構工業会

【広島】広島県鉄構工業会（理事長＝山本泰徳・ユニテックス社長）は24日、広島市内のホテルで第46回通常総会を開催、約60人が出席した。

冒頭、山本理事長は「全国で労働者不足が大きな問題となっており、外国人労働者の受け入れのための新制度が本格的に動き出しつつある。一方で鉄骨業界では後継者をどう確保するかという問題にも直面している。後継者の育成は一朝一夕にはいかない。将来を見

据え、どう対応するかこれからの大きな課題だ」と現状の課題について言及し、「鉄は生活になくてはならない基礎素材。そして、われわれファブがなければ、日本全国のビル、工場、学校、病院といった社会インフラは成り立たない。社会イン

フラの根幹を担っていることを思い返し、自信を持って、胸を張って、鉄骨業界の地位向上、知名度アップに取り組んでいこう」と呼び掛けた。

続いて来賓の田邊昌彦・広島県副知事、中本隆志・広島県議会議長があいさつ。安心・安全な建築物の確保への貢献などに謝辞を述べた。

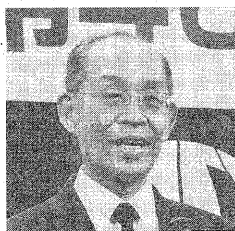
総会後は、外国人技

術者・技能者の活用に向けた「外国人受け入れセミナー」が開かれ、特定非営利活動法人ヒザサポートセンター広島

の益田浩司理事長が「新しい外国人技術者受け入れ制度」を題し、講演。広島県鉄構工業会（山口製作所常務）がベトナムで進める「外国人技能育成プロジェクトについて」取り組みを紹介した。



山本理事長



田邊副知事